

高齢者の暮らしを支える

ゆるやかな人口減少

本町の人口は、年々減少傾向にあります。令和元年度に町が策定した「人口ビジョン（改訂版）」では、2020年の人口が76,277人、団塊の世代が75歳以上となる2025年は72,544人になると推計しています。【図1参照】

人口ビジョンとは、現状を分析し、長期的な人口推計を行うとともに、将来の展望等を示したものです。（人口ビジョンは町ホームページで確認することができます）

国の推計（国立社会保障・人口問題研究所による2018年推計）では、2020年の人口が69,099人となっておりますが、本町の住民基本台帳上における2020年3月末の人口は76,166人となっておりますので、実際は国の推計よりもゆるやかな人口減少となっております。

※図1の2020年の総人口は、人口ビジョンによる推計値です。

本町の高齢化率

本町の高齢化率（65歳以上の高齢人口が総人口に占める割合）は、全国全道平均や釧路管内の市町村と比べても高くなっています。【図2参照】

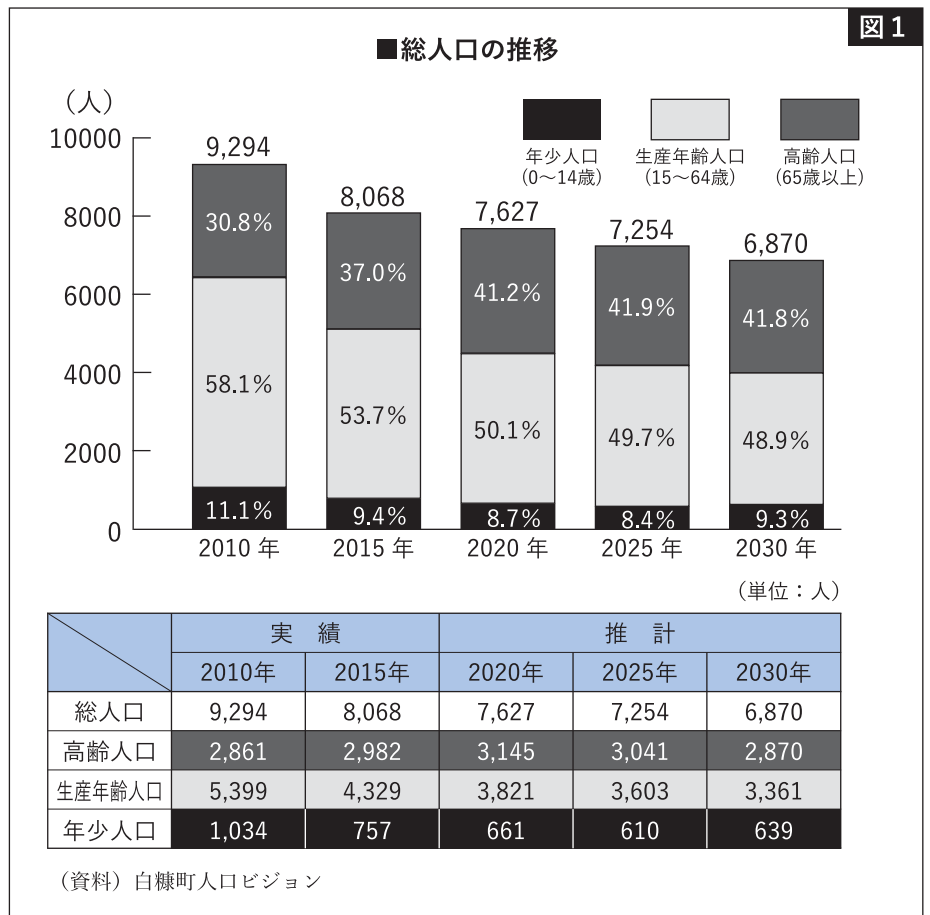
総人口は減少傾向にありますが、高齢化率は上昇を続けており、住民基本台帳上における2020年3月末の高齢化率は、41・47%となっております。

このような中、高齢者の方々が尊厳をもって、安心して毎日の暮らしを送れるように、今後ますます重要となってくるのが、介護や福祉、地域医療、町内会での見守りなど、高齢者を支える多様な支援です。

介護保険の認定者数

高齢化に伴い、介護を必要とする「要支援認定者」「要介護認定者」の数もゆるやかに増加しています。介護保険を利用する場合「どのよう介護が、どの程度必要なのか」

図1



を判定する必要があります。その判定の結果、何かしらの支援が必要と判断された方は「要支援認定者」、介護が必要と判断された方は「要介護認定者」となります。また、介護を必要とする度合いによって、要支援1〜2、要介護1〜5までの7段階に区分されます。【図4参照】

本町の要支援・要介護認定者数は、

2020年3月末で5,644人、5年前の2015年3月末では5,188人となっておりますので、5年間で46人の増となっております。しかし、全国や全道の平均、釧路管内と比べると、本町の要介護認定者の認定率（要介護認定者が65歳以上の高齢人口に占める割合）は低くなっています。【図3参照】